

平成23年度 みなとみらいエリアマネジメント活動助成事業報告書

1. グループ名 ; 特定非営利活動法人PC-ITV
2. 提案名 ; みなとみらい21の再発見 (みなとみらい21放送局)
3. 助成を受けて行った活動の時期 ; 平成23年4月1日から平成24年3月30日

4. 助成を受けて行った活動の内容

(1) みなとみらい再発見番組を13本制作 (内10本を登録)

知っているようで知らない、知って得する情報をインターネットTVで紹介しました。

<http://pc-itv21.com> から確認できます。

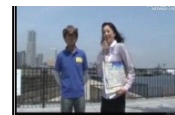
① みなとみらい郵便局長にインタビュー

みなとみらい21地域に3つある郵便局長に民営化後の郵便局についてインタビューしました。



② ベロタクシー”横浜再発見コース”

観光の楽しい足となっているベロタクシーに乗ってMM21再発見コースを案内して頂きました。



③ みなとみらい農家朝市

毎月第四日曜日に行われている農家朝市の関係者や農家の方に集まって頂き、紹介して頂きました。



④ みなとみらい花火大会

今年は東日本大震災の復興を願って開催された花火大会を、MM21を背景にしてコットンハーバー側から紹介しました。



⑤ セタあんどんキャンドルナイト

今年が2回目となる七夕を紹介。20時にビル群の照明が消灯されあんどんキャンドルが美しく浮かび上がりました。



⑥ みなとみらい大盆踊り大会

MM21地区の自治会、公園管理者、ホテル、企業などが、一緒になって楽しみました。



⑦ みなとみらい秋祭り

みなとみらいにあるマンション自治会主催で行われた秋祭りですが、農家朝市の皆さんや地元企業が協力し楽しみました。



⑧ 横浜コミュニティーサイクル (ベイバイク)

市民クルーを募集し企画しました。ベイバイクの新しい楽しみ方 (赤い靴バスも利用) は観光にぴったりです。



⑨ 万葉倶楽部を再発見

熱海湯河原の湯を毎日みなとみらいまで運搬。ハイエンド温泉、エコ企業、被災地支援、都市絶景スポット等を再発見しました。



⑩ みなとみらいの背景 (西区山側) を再発見

西区エリアにあるMM21を山側から観てみました。西区役所、能楽堂、野毛山動物園に協力して頂きました。(市民クルー)



⑩ 登録できなかった番組

クルーズ船から観たMM21再発見・エコハウス・パブリックアート紹介は、敷地管理者の許可回答を準備できなかった理由でMM21再発見番組として登録できませんでした。

(2) 映像制作クルーの募集およびみワークショップの開催



説明会・ワークショップ状況

リポーター・キャスト・カメラ・監督・技術など”みなとみらい再発見”を一緒に楽しむクルーを募集しました。説明会には17人が参加し、リポーター、スタッフに15人が登録しました。ワークショップではドコモベイバイクの再発見番組と西区から見たMM21を再発見番組を制作しました。

5. エリアマネジメントの効果

(1) みなとみらい21エリアを繋ぐ活動

みなとみらい21再発見の番組制作の過程で、みなとみらい3郵便局長インタビュー → 郵便局長からみなとみらい自治会長を紹介 → PC-ITVがスタジオ協力していただいている積水ハウス・バイクオーター社長をみなとみらい自治会に紹介 → みなとみらい秋祭りを収録 → 秋祭り出展者の横浜ビールのイベントを取材するという繋がりとなり、みなとみらいエリアを繋ぐ活動に貢献しました。

(2) みなとみらいの日本的イベントを紹介

MM21事務局のご紹介とMMマンションの繋がりにより、農家市場、七夕あんどん、MM盆踊り、MM秋祭りなど、みなとみらいで行われる日本的イベントを紹介しました。

みなとみらいエリアの外では普通のお祭りではありますが、新しい都市でありながら伝統的日本人のお祭りが開催されている理由を、主催者のインタビューなどを通して紹介できました。

(3) 幅広い世代の市民と交流

募集した市民クルーは、12歳の高校生（戸塚区在住）から68歳のプロカメラマン（日ノ出町で個展等を開催）まで幅広い世代の方々に集まって頂きました。ワークショップでは、ベイバイクをテーマに取材企画を考えたり、市民クルーが西区の市民団体（まちづくり劇団）に依頼して番組制作を企画するなど、若い世代からシニア世代までの市民楽しんで頂きました。

(4) 市民とアーティストを繋ぐ市民アーティスト会を設立

今回のエリアマネジメント活動によって様々なジャンルのアーティストが、PC-ITVの活動に賛同し、多くのアーティスト集まりました。その結果、市民に応援されるアーティストで市民活動に貢献するアーティストを目指す「市民アーティスト会」を設立することができました。

6. 今後の活動展望

インターネットTVの特徴は、何時でも繰り返し視聴することができ、イベント主催者のインタビュー等を通して、主催者の思いや市民との関わり方を直接紹介する効果が期待できます。

今回の活動を通して集まった市民クルーは、インターネットTVを理解することで社会活動に参加できる楽しさを実感し、高校生からシニアまで幅広い世代の方々が参加しました。また、様々なジャンルのアーティストが集まるという効果もあり、市民アーティスト会（市民クルー）がエリアマネジメント活動を引き継ぐという活動の基盤ができました。

次年度以降は、市民クルーの活動基盤ができたことで、みなとみらい21全体をアミューズメントエリア的な紹介活動を継続したいと思います。

以上

収 支 決 算 書

団体名 特定非営利活動法人 PC-ITV

1 収入

項 目	金 額	説明 (負担者及び負担方法等)
交付された助成金 (A)	250,000	
収入	64,873	自己資金
合 計	314,873	

2 支出 (助成金対象経費分)

項 目	数量 (単位)	単 価	金 額	説 明
デザイン費	1件		40,000	クルー募集パンフレット デザイン
賃借費 撮影収録機器賃借費	12回	10,500	126,000	ビデオカメラ SONY (10回) ×1台 VICTOR(2回) ×1台
万葉倶楽部施設利用	1回	1,600	1,600	スタッフ控え室利用
人件費 アルバイト交通費補助	1式		114,500	キャスト・編集・撮影支 援 (助成金/2以内)
消耗品費	1式		23,563	記録/撮影/編集に伴う消 耗資材他
運搬費	1式		2,840	12月6日西区再発見の 機材運搬移動 (タクシー代)
印刷費	1式		6,370	クルー募集印刷費 2,000部
合 計 (B)			314,873	(A) ≤ (B) × 4 / 5

3 決算後の助成金の額

- (1) (A) ≤ (B) × 4 / 5 の場合 (A) の額 ￥ 250,000.-
- (2) (A) > (B) × 4 / 5 の場合 (B) × 4 / 5 の額 .-